

循環器病の診療実態の把握に関する現状と課題

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

非感染性疾患とは

□ WHOでは、非感染性疾患について以下のように記載している。

- Noncommunicable diseases (NCDs), also known as chronic diseases, are not passed from person to person. They are of long duration and generally slow progression. The four main types of noncommunicable diseases are **cardiovascular diseases (like heart attacks and stroke)**, cancers, chronic respiratory diseases (such as chronic obstructed pulmonary disease and asthma) and diabetes.

<https://afro.who.int/health-topics/noncommunicable-diseases>

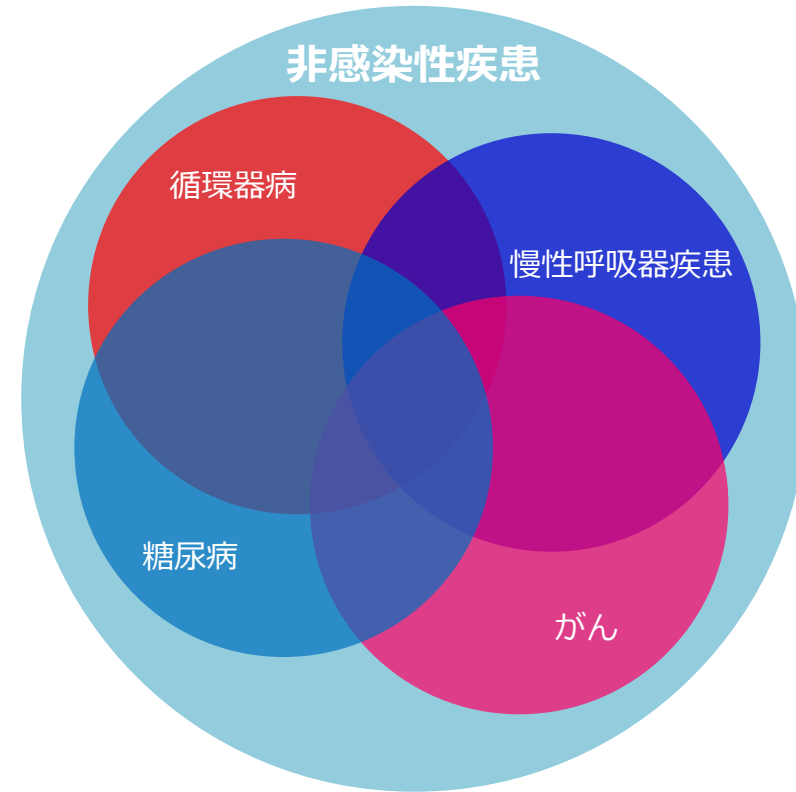
慢性疾患としても知られる非感染性疾患(NCDs)は、人から人へと伝わらない。非感染性疾患は長期間にわたり、一般的にゆっくりと進行する。非感染性疾患の4つの主なタイプは、**循環器病(心臓発作及び脳卒中など)**、がん、慢性呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患及び喘息など)及び糖尿病である。

(厚生労働省健康局がん・疾病対策課による仮訳)

- The four main NCDs are caused, to a large extent, by 4 unhealthy behaviours, or risk factors: tobacco use, unhealthy diet, physical inactivity and harmful use of alcohol.

<http://www.emro.who.int/entity/ncds/index.html>

4つの主要なNCDsは、大部分は、4つの不健康な行動あるいはリスク因子(タバコの使用、不健康な食事、身体の不活動及び過度なアルコール摂取)によって引き起こされる。(厚生労働省健康局がん・疾病対策課による仮訳)



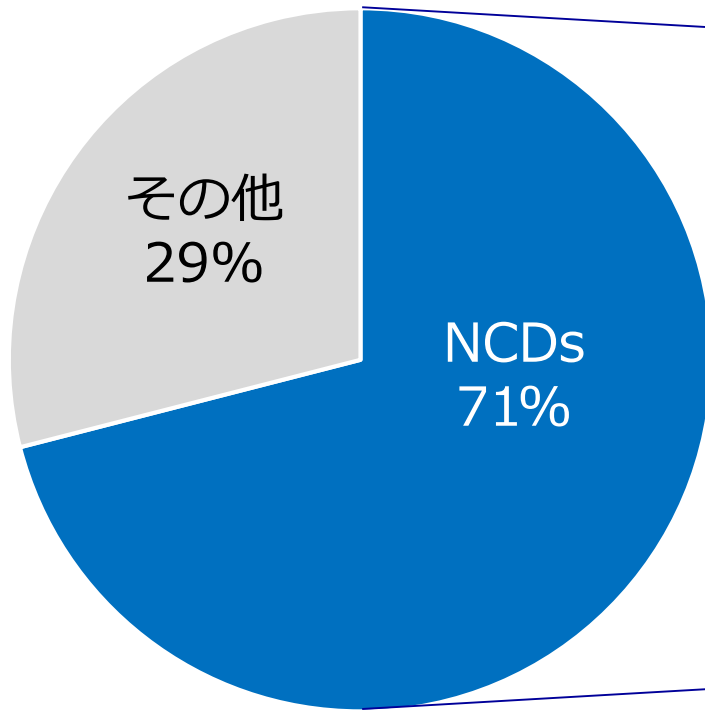
Global status report on noncommunicable diseases 2010
より引用改変

□ 非感染性疾患は、不健康な生活習慣(タバコの使用、不健康な食事、身体の不活動、過度なアルコール摂取)の結果、発症する疾患の総称である。

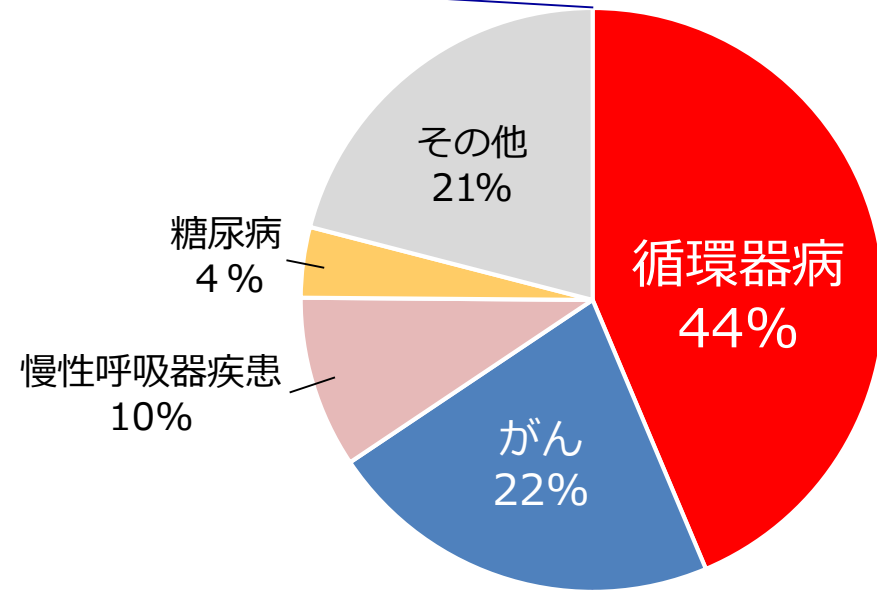
世界の死亡原因における非感染性疾患の割合

- 世界では、非感染性疾患(NCDs)で毎年約4,100万人が死亡しており、死亡原因の71%を占める。
- 4つの主要なNCDsの1つである循環器病は、非感染性疾患の死亡原因に占める割合が最多であり、毎年1,790万人が循環器病が原因で死亡している。

世界の死亡原因の内訳



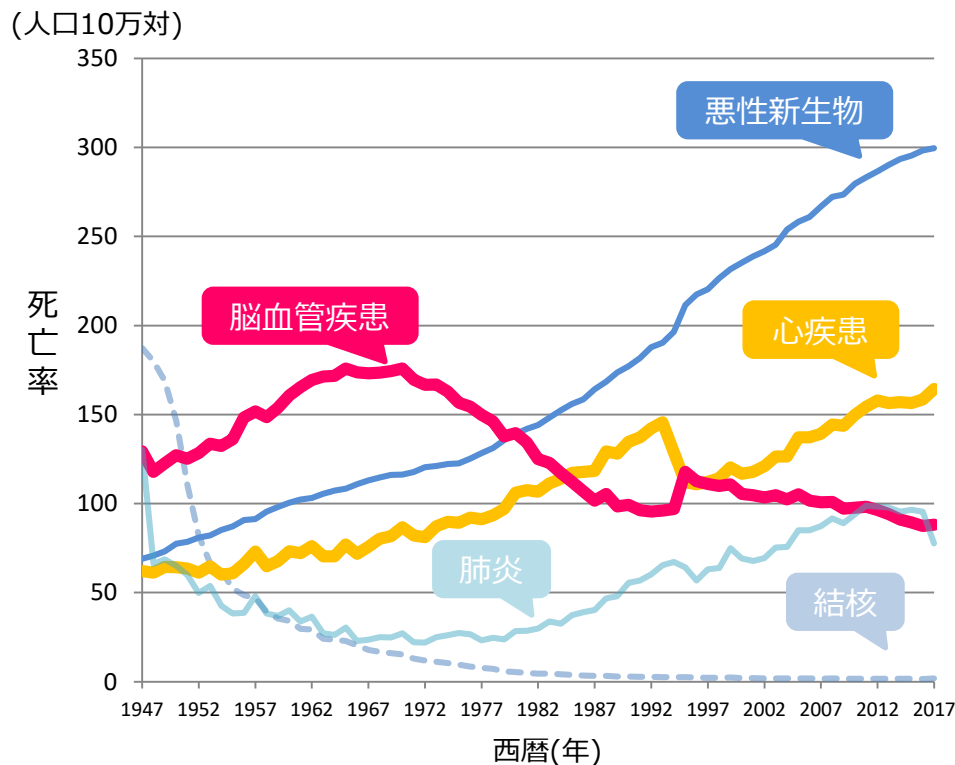
NCDsにおける死亡原因の内訳



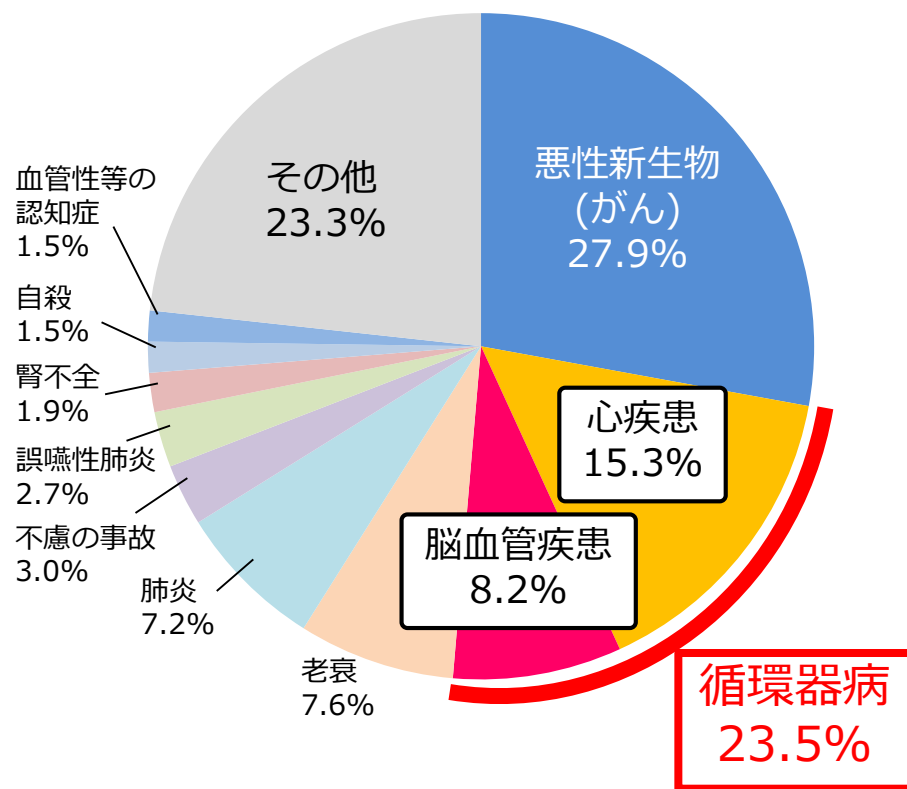
我が国の死亡原因における循環器病の割合

- ❑ 心疾患及び脳血管疾患は、我が国における主な死亡原因である。
- ❑ 2017(平成29)年の人口動態統計によると、心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第3位であり、両者を合わせた循環器病は、悪性新生物(がん)に次ぐ死亡原因である。

我が国における死亡率の推移(主な死因別)

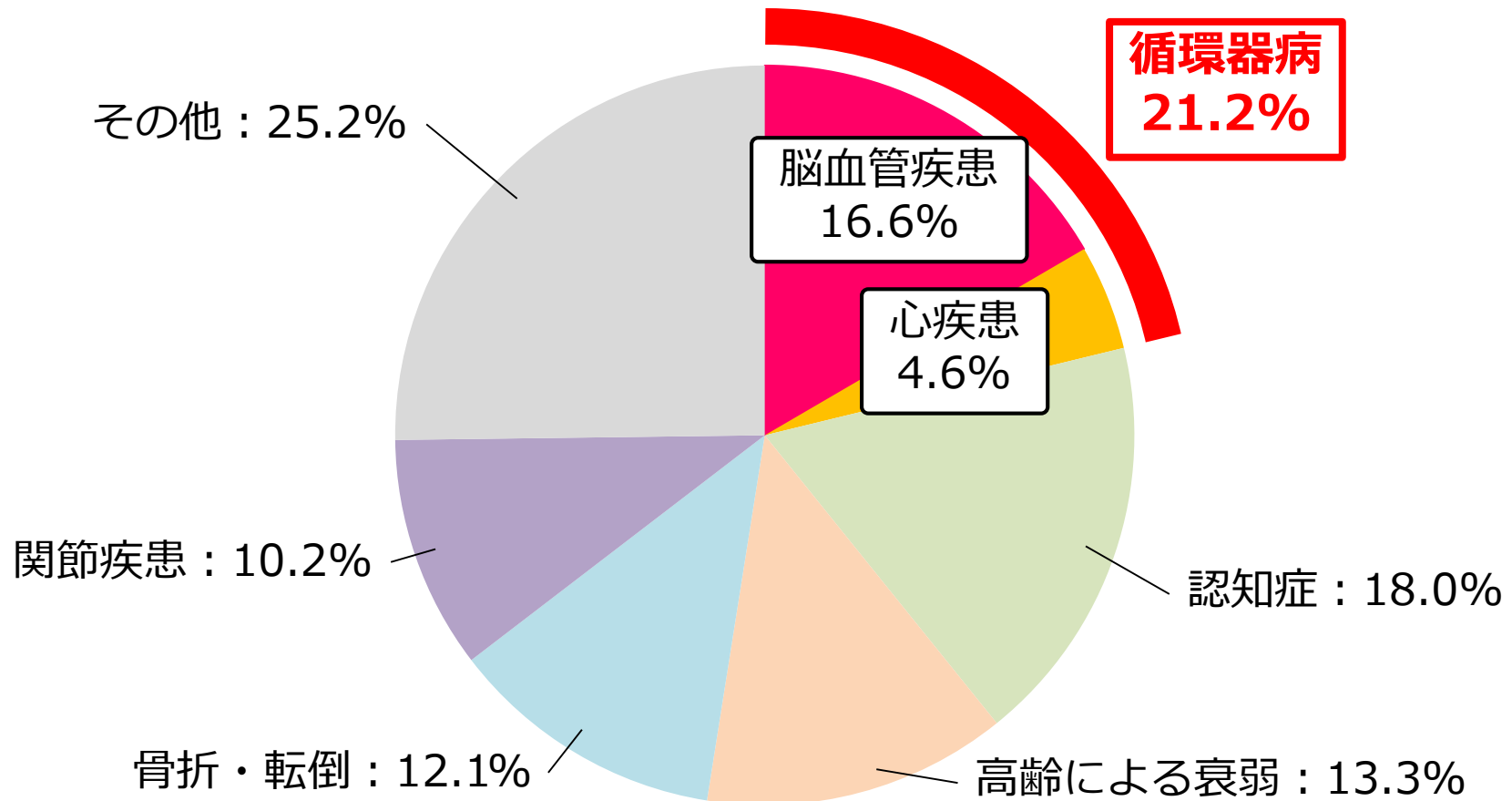


2017(平成29)年の死亡原因内訳(%)



我が国の介護が必要となった主な原因の構成割合

□ 脳血管疾患が16.6%、心疾患が4.6%であり、両者を合わせた循環器病は21.2%と、介護が必要となった原因に占める割合は最多である。



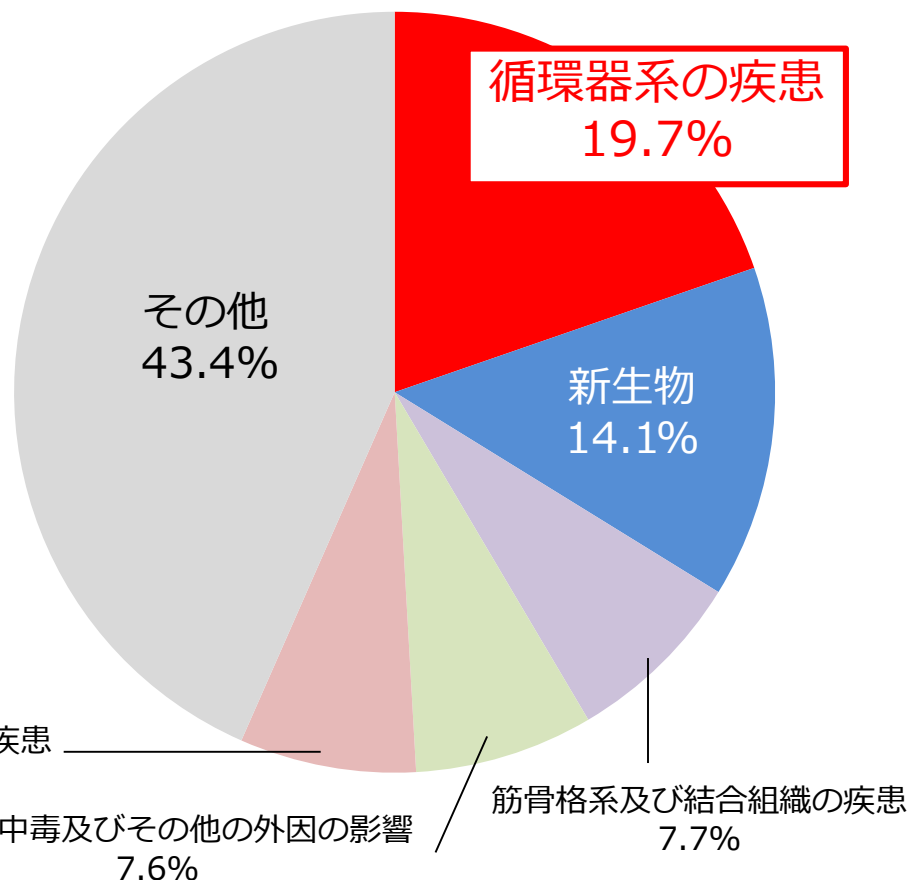
※要支援および要介護者に占める割合

<その他の内訳>	パーキンソン病 : 3.1%	糖尿病 : 2.7%	悪性新生物 : 2.4%	脊髄損傷 : 2.3%	呼吸器疾患 : 2.2%
	視覚・聴覚障害 : 1.3%	その他 : 8.2%	不明 : 1.1%	不詳 : 2.0%	

我が国の傷病分類別医科診療医療費(上位 5 位)

- 平成28年度傷病分類別医科診療医療費は、30兆1853億円。
- そのうち、循環器系の疾患(循環器病)が占める割合は、5兆9333億円(19.7%)と最多。

医科診療医療費の構成割合



循環器系の疾患の医療費の内訳

疾患	医療費
循環器系の疾患	5兆9333億円
高血圧性疾患	1兆7981億円
心疾患(高血圧性のものを除く)	1兆9378億円
虚血性心疾患	7399億円
脳血管疾患	1兆7739億円
その他	4235億円

※傷病分類はICD-10 2013年版に準拠した分類による。

健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法 概要

趣旨

平成30年12月14日公布

脳卒中、心臓病その他の循環器病が、国民の疾病による死亡・介護の主要な原因になっている現状に鑑み、循環器予防等に取り組むことで、国民の健康寿命の延伸を図り、医療・介護の負担軽減に資する。

概要

I 基本理念

- ・ 循環器病の予防、循環器病を発症した疑いがある場合における迅速かつ適切な対応の重要性に関する国民の理解と関心を深める。
- ・ 循環器病患者等に対する保健、医療、福祉に係るサービスの提供が、その居住する地域にかかわらず等しく、継続的かつ総合的に行われるようにすること など

II 法制上の措置

- ・ 政府は、循環器病対策を実施するため必要な法制上又は財政上の措置その他の措置を講ずる。

III 循環器病対策推進基本計画の策定等

- ・ 政府は「循環器病対策推進協議会」を設置し「循環器病対策推進基本計画」を策定。少なくとも6年ごとに変更を行う。都道府県は「都道府県循環器病対策推進協議会」を設置するよう努め、「都道府県循環器病対策推進計画」を策定。少なくとも6年ごとに変更を行うよう努める。 など

IV 基本的施策

- ・ ①循環器病の予防等の推進、②循環器病を発症した疑いがある者の搬送及び受入れの実施に係る体制の整備、③医療機関の整備、④循環器病患者等の生活の質の維持向上、⑤保健、医療及び福祉に係る関係機関の連携協力体制の整備、⑥保健、医療又は福祉の業務に従事する者の育成、⑦情報の収集提供体制の整備、⑧研究の促進 など

第18条第2項

国及び地方公共団体は、循環器病に係る予防、診断、治療、リハビリテーション等に関する方法及び医療機関等におけるその活用に資するため、国立研究開発法人国立循環器病センター及び循環器病に係る医学医術に関する学術団体の協力を得て、全国の循環器病に関する症例に係る情報の収集及び提供を行う体制を整備するために必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

施行期日

公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日

現状

- 循環器病は、悪性新生物(がん)に次ぐ死亡原因であり、介護が必要となる主な原因疾患であるとともに、医科診療医療費に占める割合が最多であるなど、社会的な影響、医療費への負担が大きい疾患群。



診療実態の把握に係る基本的な課題

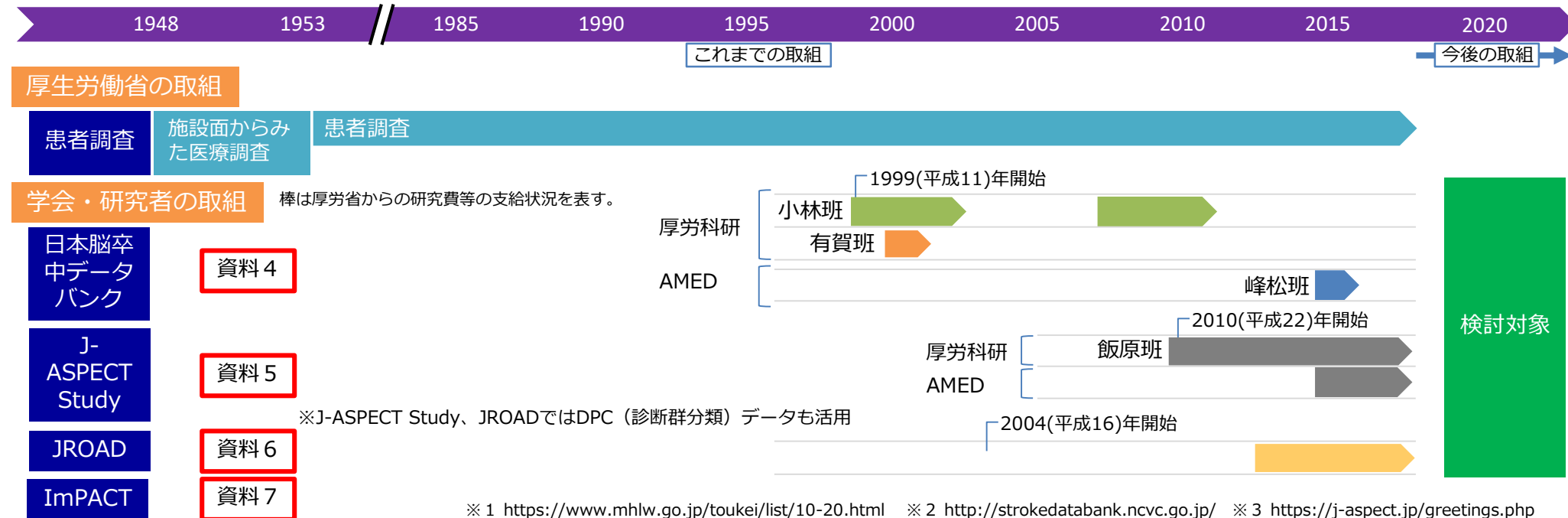
- 循環器病の対策には、正確な診療実態（患者数（罹患率）や治療内容等）の把握が必要であるが、既存のデータベースでの把握には限界がある。

循環器病の診療実態を把握する体制の現状

現状

- 循環器病の診療実態の把握については、現在、患者調査、関連学会、研究者による取組等がある。
- 患者調査※¹（統計法(第2条第4項)に基づく基幹統計）は、病院及び診療所(以下「医療施設」という。)を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的としている。調査の時期は、入院及び外来患者については、10月中旬の3日間のうち医療施設ごとに定める1日であり、各疾病の総患者数(推計値)等を把握することが可能である。
- 脳卒中領域の代表的な取組として、厚生労働科学研究の代表的な成果物である日本脳卒中データバンク※²、J-ASPECT Study※³がある。登録医療施設(累積登録患者数)はそれぞれ約120施設(約15万例)、約400施設(約30万例)である。
- 心血管疾患領域の代表的な取組として、医療施設単位で診療情報を収集する日本循環器学会の循環器疾患診療実態調査(JROAD)※⁴がある。2013年度以降、全ての学会専門医研修施設・研修関連施設が参加(2017年度調査、1353施設)。
- このほか、一部施設を対象とした電子カルテ情報を統合したデータベースの開発などがある（例：革新的研究開発推進プログラムImPACT(総合科学技術・イノベーション会議(内閣府)によるプログラム)における研究※⁵）。

循環器病の診療実態を把握する体制の現状



※1 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html> ※2 <http://strokedatabank.ncvc.go.jp/> ※3 <https://j-aspect.jp/greetings.php>
※4 http://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/ ※5 http://www.jst.go.jp/impact/hp_hharada/program_hs.html